

「住みよいまちづくり」に向けた集い
令和元年度第4回定例会（第16回）報告

日 時 令和元年10月20日（日）午前10時～正午
場 所 多摩の里 けやき園1階 地域交流スペース
参加者 27人
〈地区住民19名〉
〈関係者5名〉多摩の里けやき園、福祉総務課、市防災防犯課
西部地域包括支援センター
〈社協3名〉大櫛主査、岡野主査、江連

配布資料 (1) 次第
(2) 秋まつり・防災訓練 役割分担
(3) 秋まつり・防災訓練 収支予算（案）
(4) 秋まつり・防災訓練 広報チラシ（案）

1 挨拶

2 自己紹介

困りごと・気になること・取り組んでいることの共有

[困りごと・気になること]

○若い方が自治会に入らない。子どもがいる若い方が代表になって取り組んでももらえたら良いと思う。

○「台風の際の防災無線が聞こえにくかった」との声が地域の人から届いている。

○防災無線の放送の際、声が小さく何を言っているのか全くわからなかった。声が低すぎるのではないかな。もっと高い声の人だと聞こえやすいのではないかな。

○防災だけでなく、普段の放送も何を言っているのかわかりづらい。

●回答：防災無線について、市担当課より後述

○弥生台公園の剪定をしてもらったが、すべり台の周囲にまだ草木が生い茂っていて、非常に危険である。早急に対処してもらいたい。

●回答：一週間程お待ちいただき、対応がなければご連絡下さい。（市福祉総務課）

[取り組んでいること]

○健康課で「東くるめわくわく元気 plus+」を実施している。3週間程度簡単な日々の取り組みをして申請すると、市内で使えるお得なカードがもらえるので、ぜひ利用してほしい。弥生台集会所で毎月第三木曜日2時から4時に茶話会を開催。どなたでもお越し下さい。

○第二、四土曜日10時から11時にお遊戯を含めた体操をしている（弥生 健笑会）。男性にも参加していただきたい。

○地域で立ち上げた光彩クラブにて、本日午後2時から同会場でミニコンサートを開催するので興味のある方はぜひご参加ください。

3 協議・検討（要約）

(1) 交流イベント「秋まつり・防災訓練」

① 実行委員より報告

- 弥生地区の子どもへの広報について、九小校外部なのはな班の代表と連絡がとれた。今年度は親子で集まる機会はないとのことだが、チラシができれば LINE で広報してくれるとのこと。
- 協賛は弥生台自治会 5,000 円、東久留米弥生自治会 6,000 円、柳自治会 5,000 円。東久留米弥生自治会は、一軒一軒まわって寄付を呼びかけて募った。
- 支出について、無理に使い切るのではなく、残額は次回のイベント等に繰り越してもよいのではないか。

〔収支予算〕

収 支 予 算	収入の部	金 額	内訳・算出根拠(単価・人数)
	1.参加費	10,000 円	@100円×100人
	2.協賛金	6,000 円	東久留米弥生自治会
		5,000 円	弥生台自治会
		5,000 円	柳自治会
	合 計	26,000 円	
	支出の部	金 額	内訳・算出根拠(単価・人数)
	1.飲食費	3,500 円	飲料各種、飴
		4,500 円	串フランク
		2,500 円	フライドポテト (冷凍1kg500円×5袋)
2.印刷費	4,000 円	チラシA4両面カラー 700枚	
3.消耗品費	1,500 円	紙コップ、折り紙、調味料ほか	
4.予備費	10,000 円		
合 計	26,000 円		

② 懸案事項(主催名、飲食、手作りコーナー、広報)

- 主催名について、昨年は社協名を併記していたが今回より地区住民の取り組みとして『弥生地区「住みよいまちづくり」に向けた集い第2回弥生地区秋まつり実行委員会』とする。
- 飲食「フライドポテト」について、電子レンジ、ホットプレートを用いるなど美味しくできるように検討する。
- 「魚釣り」について、竿とタコ糸の準備は蹄さん、荒島さんが担当。釣り場用のプールと魚はけやき園にて準備する。型取りは施設の学生ボランティアに依頼する。魚がつかれたら飴をあげる景品付きとする。
- チラシ案について「防災訓練」「スタンプカード1枚」の表記は削除する。

③ 役割分担 (敬称略)

- | | | |
|---|---------------|-------------------------------------|
| 1 | 取りまとめ | 担当：山口信夫、佐々木智恵子 |
| 2 | 広報・渉外 | 担当：内田克彦、塚本賢二 (柳自治会) |
| 3 | 会計 | 担当：瀧田寿美恵、榎本孝子 |
| 4 | 会場装飾・掲示 | 担当：榎本孝子 (看板題字) |
| 5 | 受付・案内 | 担当：佐藤公美子、小西保子、松川艶子 |
| 6 | 放送・司会 | 担当：喜村秀子 |
| 7 | 飲食・談話コーナー | 担当：内田克彦、瀧田寿美恵、榎本孝子 |
| 8 | チャレンジお楽しみコーナー | |
| | (1) わなげ | 担当：和田きみ、蹄徳子、荒島美代子 |
| | (2) 射的 | 担当：藤澤智幸、齋須照夫 |
| | (3) 魚つり | 担当：中場武浩、柳自治会
(釣竿と糸の準備：蹄徳子、荒島美代子) |

9 わくわくてづくりコーナー

- | | | |
|-----|---------|---------------|
| (1) | ぶんぶんゴマ | 担当：杉本博嗣 |
| (2) | 折り紙 | 担当：佐藤公美子、柳自治会 |
| (3) | 紙ヘリコプター | 担当：佐藤公美子、柳自治会 |

10 防災体験 担当：柳自治会

- | | |
|-----|---------------------------------|
| (1) | AED／応急救護体験 (消防署) |
| (2) | 防災グッズ展示 (防災まちづくりの会・東久留米、市防災防犯課) |
| (3) | 煙体験 (消防署) |

※下線は、スタンプカード対象

※くつ置場、煙体験テントと屋内のつなぎ用のブルーシートは社協にて準備

④ その他

○前日準備

11月16日 (土) 午前10時から正午 けやき園地域交流ロビー

○当日準備

11月17日 (日) 午後1時集合 けやき園地域交流ロビー

(2) 災害時に配慮が必要な方への支援訓練 (街角防災訓練)

- ・12月15日 (日) 応急担架による搬送訓練 (東久留米消防署)

結論：定例会時に室内で体験し、できそうなら外でも実施する。

事務局：東久留米消防署より、次回定例会にて応急担架の搬送訓練の提案をいただいたがどうするか。皆で全てを担うのではなく、消防隊員の方が搬送する間に実際に体験をするというもの。応急担架のつくり方も教えていただけたと思う。

○ぜひやりたい。

○実際に外でやるのは危なくないか。室内で簡素的にやるのであれば良いが、初めての訓練でいきなり重い担架を担いでコースを回るのはどうなのか。

○外出する場合は、雨天だとできないのではないかな。

- 小学生を運ぶのでも結構重いのと思う。二人では無理。四人は必要だと思う。
- 訓練をやってみないことには分からない。
- 段階を踏んでできないか。まずはここでやってみて、大丈夫そうなら外で行うなど。いきなり外で訓練を行うのは個人的に怖いと思う。
- 定例会前に訓練を行ってその後話し合うのか、それとも話し合ってから訓練を行うのか。訓練は結構時間取るので、定例会の時ではなく別の機会にした方が良いのでは。

○まずは実際に体験してみて、それから話し合ったほうが様々な意見が出ると思う。
井上さん（防災防犯課）：消防署は災害があった際、弥生地区にくることはできない。訓練で公園まで運ぶのは大変。確かにそうだが、担架が大変なら担架ではない手段が無いのか、どれだけ大変なのかというのを分かるだけでも、分かった上でどうしたら良いかなど、皆で考える材料になると思うので、ぜひ参加して頂きたい。

（3）その他 防災無線等

井上さん（防災防犯課）：台風の際の防災無線が何を言っているか分からないという電話をたくさん頂戴した。これにはいくつか理由がある。駅周辺は高層ビルが多く音声ダイレクトに伝わらない状況が強い。またこの周辺だと時間によっては風や雨で音声聞き取りづらかったのではないかな。

すぐにできる対策は、無線の音量を上げること。前回の音量は、日頃から夕方に流している「夕焼け小焼け」と同じ音量だった。地震など緊急時の音量は通常の1.3～1.4倍とされている。音量までの配慮が足りなかった。次回無線を流す際には気をつけたい。

また、個々の放送塔に分けて放送することができる。例えば、弥生地区の放送塔のみ音を出すなど。現在試験段階だが、時差放送と言って、同じ内容を3回別の放送塔から流す事で、聞き取りにくい所も聞くことができる。市としては、知らせたい内容は伝えなければならない。

もしも放送内容が分からない場合は、電話で聞くことができるサービスや、事前に登録していただくとメールで内容を受け取れるシステムもある。ホームページでは随時情報を発信しているが、場合によっては一時的にアクセス数が増え、繋がりにくくなることもある。

FM西東京（84.2MHz）とも懇意にしており情報を発信している。FMひがしくるめは、市内全域をカバーできていないところもあるので、FM西東京からも同じ内容を流す様お願いしている。できることは物理的に限られているので、ラジオやテレビ、JCOMなど様々な方法で情報を流している。

防災無線を3回も鳴らしたのは初めてであった。聞こえ方など実際に雨の中で流してみないと分からないところもあるので、問い合わせがあればその都度、放送内容をお伝えする対応をするようにした。今後も工夫していくが、皆さんにもこれから放送が流れると意識して聞いてもらうこと、ホームページやラジオなど、他の方法で確認してもらうなどすれば、もっと伝わるのではないかな。

私達も試行錯誤である。本当に危機状況になれば、消防団が車を回してでも避難勧告をする。団広報でも情報を掲載している。災害の中で、どこまで伝わるかは、

限界はあるため、繰り返しになるが、様々な手段で2重3重でお知らせしている。台風は来年も再来年も必ず来るので、その際に市として、地域として、あるいは自治会としての取り組みなど、その状況に見合った形で動ければと思う。

この周辺は災害によって家が流され人が亡くなったことは無く、床上浸水、床下浸水がそれぞれ何軒かあった事、落合川が一部流れ出た程度に留まっている。

市になって初めて避難準備情報を流した。弥生地区は地盤高が標高70mと市で一番高い。小平市にほぼ匹敵する高さ。高ければ良い、低いから悪いという訳ではないが、低い地盤高で地盤がゆるい所、河川の増水が考えられるところなど、危険な区域に限定して避難情報は流した。例えば、今すぐ避難とNHKに出たから全部の住民が今すぐに避難所に行かなければならないといった情報は出していない。

水害避難の際、たくさんの問い合わせは、夜中テレビをつけたら真赤な字で「今すぐ避難」と書いてあるがどうしたら良いかといった内容。テレビでアナウンスされていたら、避難をしなければと思ってしまうが、実際に雨風が強い中、徒歩20分かけて避難所に行くのは危ない。

市が区域を指定して避難情報を出すのは、危ないからその区域に危機が迫ったら避難してくださいということ。自分の周りを見渡した時に、例えば少し低い位置にある隣の家が浸水している場合、雨などの状況を把握して避難をしていただきたい。個々に避難警報を出すことはできないので、周りの状況をみて、自分で判断をして避難をしていただきたい。

テレビやラジオでは、空前の台風だと言われてかなり騒がれていたが、結果的に雨量は小平霊園で300mm。これは台風の雨としてはごく普通か、普通より少し多い程度。これより多い雨量は実際に市でも経験しているので、さほど大きな雨量ではなかったと思われる。多摩川などは堤防の決壊、福島や新潟など被害が大きい地域は今も大変な状況である。

〔避難場所について〕

○台風の際の避難する場所について、どこへ行けば良いのかわからない。

井上さん(防災防犯課):本部では、弥生地区の避難所開設をどうするかを話し合っていた。風が強くなった際にどう逃げるのか。まず第九小学校が開けられない理由は、学校が浸水区域にある為、水防として開けるのは難しいこと。実は、西中学校は最後の最後に開設した。それまで、弥生地区の避難先についてずっと話し合っていた。小平では、最初の段階では3か所しか開けなかった。小平は市内に川が流れていないこともあり、水害に対してあまり敏感ではない。3か所、この周辺で一番近い開設場所は花小金井の東部地域センターだった。それ以外は、水害リスクが低いいため特に開設はしないということだった。

東日本大震災以降の台風の際に、とにかく多くの避難所をと開けた所、避難のために水害で亡くなってしまったケースがあった為、地震に対して開ける避難所と、東久留米の中には浸水想定区域がある為、水害に対して開ける避難所は別となる。こうしたことは多くの人には知らず、今後もっとお知らせしていかなければならないと思っている。弥生地区は九小が途絶えた場合、直近は西中だが、実際とても遠いため、それが避難先として可能かとなると、弥生地区の近隣にある小学校の開設を上手く活用するしかないのではないかと。

明日さん（福祉総務課）：秋まつりの話の後、応急担架訓練の話もあったが、何事も経験してみないと先に進めないと思うので、秋まつりが終わった後の定例会ではぜひ皆で訓練を体験して頂きたい。

事務局：ありがとうございました。以上で終了となります。秋まつりの前日準備は11月16日（土）午前10時から正午、当日準備は11月17日（日）午後1時集合です。お手伝いいただけるご友人を誘ってきてください。また、次回の第5回定例会は、12月15日（日）午前10時から開催です。よろしく申し上げます。

以上